

第118号 ふれあいのまち つるかぶと

鶴甲小学校の絆 = 大月台・篠原台・水車新田・鶴甲・六甲台

発行所 鶴甲ふれあいのまちづくり協議会
〒657-0011(鶴甲小学校内)
神戸市灘区鶴甲2丁目10-1
TEL 078-822-8709

発行者 野田比奈 TEL 078-843-0884

編集者 広報部 TEL 078-822-8709

印刷所 イバ紙器印刷工業所
TEL 078-231-5735
神戸市中央区琴ノ緒町1-2-229



地域の温かさを感じた

ふれあい運動会

藤原円香

『どようびがたのしみだねえ!』5歳と2歳の息子たちは前の週から「ふれあい運動会」を楽しみにしていました。

当日は、小さい子から大人までみんなが楽しめる種目が目白押しで、我が家は「親子ダンスと「おやつをゲット」に参加させてもらいました。秋晴れの下、学校の広い運動場で親子共々のびのびとした時間を過ごしました。

来ている親子連れや小学生の子どもたちも楽しそうで、他の種目も盛り上がりつつあったのも印象的でした。

また、実際に参加してみて、会場アナウンスや各種目の準備、受付など、たくさんの方の協力のおかげでこの運動会が成り立っていることにとてもありがたい気持ちでいっぱいになりました。

これからも、いろんな世代が交流することで、ますます鶴甲が盛り上がりつつあるのを感じたいと思います。地域の温かさを感じた喜びを感じた1日となりました。

ふれあい運動会に参加して

5年 藤井 健太郎

僕が出たのはふうせんわり競争と消火器レースと、親子ダンスとリレーです。僕が一番たのしかったのは、消火器レースです。やり方をちいさきの人に教えてもらい、うまくできてよかったです。

かりもの競争では、「青い服の人」で選ばれて、いっしょにゴールしました。

ちいさきみなさんや、お父さんやお母さんたちや先生たち、大学生のみなさん、たくさんの人たちが協力や準備をしてくれていました。

参加すると、おかしがもらえます。友達や野球部のみんななどいっしょに食べたのしかったです。

お詫び

前号(第117号)におきまして一面長峰中学校三年小谷朱音さんの原稿で誤植がありました。編集確認ミスで投稿者の方には大変申し訳ありませんでした。

誤植箇所は、
後ろから4行目「無視も」誤り
「虫も」が正解です。

2024ふれまち 新年のつどい



○日時:1月13日(土) 午前9時30分~12時30分 雨天時は14日(日)に延期
○場所:鶴甲小学校 校庭&福祉センター

2024ふれまち新年のつどい どんと



○午前 10時00分~11時00分 ※正月飾り受付:9時30分~10時30分
○場所:鶴甲小学校 校庭
※お正月飾りは、みかん・プラスチック・金属は必ず取り外してお持ちください。
ノート・本など燃えにくいものはお断り致します。

2024ふれまち新年のつどい 餅つき



○午前 9時30分~10時30分 雨天中止
○場所:鶴甲福祉センター南庭
□ 餅つき体験・ぜんざい

正月あそび ふれあい喫茶

○午前11時00分~12時:30分
○場所:地域福祉センター内、庭、校庭
□ かるた、羽根つき、凧あげなど
□ 車での来場はお断りします。(路上駐車はできません)
□ 当日体調の悪い方は参加を見合わせてください。



主催:鶴甲ふれあいのまちづくり協議会



福祉センターから
お知らせ

編集後記

【年末年始予定】
地域福祉センターの年末年始の予定は、12月27日(水)~1月5日(金)までお休み、6日(土)から開館します。

【今後の事業予定】
ゆうゆう喫茶:
12月26日(火) 10時~11時半
1000円

夜回りボランティア募集
灘防犯協会鶴甲支部

| | | | |
|-----|----|---|-------|
| 12月 | 23 | 土 | 午後8時~ |
| | 24 | 日 | お休みです |
| | 25 | 月 | 午後8時~ |
| | 26 | 火 | 午後7時~ |



集合場所 鶴甲交番
雨天中止 26日は雨天決行
一日参加も大歓迎。マスク着用。暖かい服装で!
今年も3日間の予定で、年末回りを実施します。若い方々の参加を是非お願いします。急な変更については、掲示板のポスターでご確認下さい。

鶴甲地域福祉センターは、鶴甲小学校の一角を拠点に活動しています。これはとても特別なことで、他の地域のふれまちは、地域の集会所などが活動拠点です。小学校の校舎にあるということで、PTA役員をはじめ保護者の皆さん、先生などと関係構築することができ色々と協力頂いています。

今号、PTAをスリム化し新しい形で活動していくという原稿を掲載しました。この中ではふれまちは、鶴甲ふれまちへ今後も協力できるような組織することも聞き嬉しかったです。

この地域に住み続けたい子供たちも一度地域を離れても、また帰って来たいと思える地域であるよう、一端を担える活動を継続していきたいと考えます。

只今、地域福祉センターエントランス部を電飾し日暮れより点灯しています。ご覧下さい。コロナから久しぶりに解放された年末年始、皆様良い年越しをお過ごしください。新年のつどいお待ちしております。(宇都宮)

持続可能性を意識したPTA組織への変革

鶴甲小学校PTA会長
村宮 克彦



鶴甲小学校の魅力の一つに強固な地域との繋がりが挙げられます。ふれまちは主催する夏祭りや運動会を始め、多くのイベントに子供たちは積極的に参加し、地域の皆さんと交流を深めています。こうした地域交流ができるのも、本校のPTAがふれまちな構成団体の一つを担っていること、負うところが大きいです。

これから先も末永く子供たちが地域との交流を図っていくためには、本校PTAが存続し続けることが重要です。ただし、私が高齢になっていくにつれて、このままの組織形態であれば、PTAの存続可能性は危ういということでした。その理由は、児童数が年々減り続けると共に、核家族や共働き世帯も増加傾向にあり、かつてのように保護者の皆さんがPTAに積極的に関与することは難しくなっているからです。

本校PTAの持続可能性を高め、これから先も引き続き子供たちの安心・安全な学校生活をサポートしていくためには、大胆な改革が必要だったのです。そこで、従前のような強制されたPTA活動から脱却し、「できるときに、できること」の精神に則り、会員のボランティア精神を前提にした運営体制へと変革することとし、その中核として組織のスリム化を図ることにしました。

具体的には、保護者に頼りすぎることになった「ヘルパー」活動を廃止し、通学路として利用している「あじさいの路」の清掃は、外注することにしました。その他にも、組織の中核を担っていた委員会を一つ廃止し、それにより36名もの委員負担が無くなりました。こうして本校ではPTAのスリム化を実現することができました。



今後は、保護者に過度な負担を強いることが無くなり、それは延いては本校PTAの持続可能性を高めることに寄与すると信じて改革を行いました。これからは本校PTAはふれまちな一翼を担い続け、子供たちに地域の皆さんとの交流の場を提供し続けていければと思いますし、また、地域の皆さんも本校の子供たちを温かい目で見守り続けていただければ嬉しく思います。

お家で
こもってる方いませんか？
ふれまちなイベントに
ご参加ください！



広報部会 山田 千恵子
もう社会人になった長男が小学生の時に鶴甲小学校PTAがご縁ではや10年余り、ふれまちな広報紙の原稿依頼、部会長(いつもありがとうございます！)が編集した広報紙を地域の皆さまにお届けするお手伝いをさせていただいています。

広報紙はふれまちな大きなイベントに合わせて年5回発行しています。年明けはもちつきに子どももフリスビーが大人気の初夏のパークフェスティバル、地域外からもたくさんの方が集まるふれあひ夏まつり、中秋の名月の日を調べて日程を決めるお月見会やラジ操体操から始まる運動会！ぐるぐる一年中、目まぐるしくイベントが沢山開催されます。これらの年間のイベント

と共に、様々なグループが福祉センターで活動しています。どの年齢層の方でも対象のものがあるかと思えます。

私自身もフルタイム勤務で全く知り合いがいなかったのですが、育児休暇中に知った「かめのクラブ」でお友達が増えて、今に至っています。当時は「公園デビュー」という言葉が流行し、最初は不安で緊張していましたが、思い切って参加してみようと思った今、心から思っています。

コロナ禍の間からずっとみんなで知恵を出し合いながらふれまちな活動は途絶えることなく続いています。

地域の活動をのぞいてみたいなどと思われている方、ぜひ一度どれでもいいので、ふれまちなイベントにお越しください！

ふれまちな絶賛活動中！
どなたも大歓迎です！

地域安全の絆

「鶴甲つながりの手」は何がなにか

飯井 教道

先日「鶴甲つながりの手」って何んの団体なの？と聞かれた。そうか7年も活動していても地域の方々にあまねく認知されることなんてないのだと、まだまだ努力が足りないことを痛感しました。

鶴甲の高齢化率が35%を超え、日常的に「歩けない」「歩きにくい」という方々が災害時に助けて！と声を上げたとき、地域のやさしい共助が期待されます。

阪神・淡路大震災のとき建物の下敷きになって自力で脱出できない方々の8割は家族や隣近所の方によって救出されました。広域災害の初期には行政による救助(公助)には限界があります。近隣の支援(共助)が必要です。神戸市では平成25年に「災害時の要援護者への支援に関する条例」を施行しました。これに基づき神戸市の小学校区に各種団体に、「たすける仕組みづくり」を策定、要援護者支援団体として登録するよう要

請がありました。このような情勢に鑑み「鶴甲ふれあいのまちづくり協議会」「鶴甲防災福祉コミュニティ」「鶴甲民生委員児童委員協議会」は要援護者支援団体として登録し、この会の名称を「鶴甲つながりの手」としました。

神戸市から提供された「災害時要援護者」名簿により、地域に密着した特色ある支援を掲げ、発足し活動してきました。以後、団体の設置要綱(規約)、地震(震度5弱以上)発生時の要援護者の安全確認マニュアル、土砂災害の対処マニュアル、避難所への避難介助マニュアル、など行動規範の整備をしました。

また、訓練として①地震発生時の安全確認模擬訓練、②AEDを用いた心肺蘇生法講習会③ケガの手当講習会などを行ないました。

その他毎年1月震災記念日の後の土曜日に支援者のつどいを開催し意識高揚をはかっています。当日は六甲山、地震などについての講演会も開催してきました。また、令和2年には神戸市より「ともにつくる安全安心なまちづくり賞」を授与されました。

「鶴甲つながりの手」

支援者のつどい案内

左記のとおり支援者のつどい(総会)を開催します。一年に一度の支援者集会、ご参加ください。

講演会には鶴甲つながりの手に関心のある方、演題に興味のある方も自由にご参加ください。

記

日時：令和6年1月20日(土)
場所：鶴甲地域福祉センター

- 1、総会・懇談 13時30分～14時
- 2、講演 14時～15時

演題：地球の活動と私たちのつながり～地球変動と地形の成り方～
講師：新井敏夫先生
(神戸大学大学院自然科学研究科博士後期課程修了 博士(理学))

季節の行事 開催報告

9月29(金)に「お月見の宴」バイオリンとお抹茶で秋満喫を開催しました。暑い昼間と打って変わって夕方にはいくぶん涼しい風も吹き、虫の音も爽やかに聞こえ地域の皆さんのお越しをお待ちしました。

ヴァイオリン演奏家のお二人にお越しいただき優雅な音楽に耳を傾ける夕べ。小さな子供も楽しめる楽しいコンサートとなりました。

その後は、見事なお点前でお茶を一品。贅沢なひととき、お菓子(栗蒸し羊羹)もおいしかったです！

センター利用日記

10月26日(木)鶴甲児童館のすこやかクラブのハロウィンイベントで、思い思いに変装した親子の皆さんが来館しました。

大きな声の「トリックオアトリート!」のごあいさつの後、スタッフからおやつが配られました。

かわいい皆さん、いつでも福祉センターに遊びに来てください。

